

「スマート農業技術活用産地支援事業」における支援チーム事前登録事業者リスト (実証課題番号順)

スマート農業実証プロジェクトの成果を広く普及させる観点から、令和5年度までのスマート農業技術活用産地支援事業の取組内容を踏まえて、新規性のあるものを優先的に採択し、活用支援の項目・品目・技術等の組合せがこれまでの取組内容（公募要領の別紙4参照）と重複するものは対象としないことにご注意ください（一部事業者の表に記載した個別の注も参照）。

- 表中の課題番号（【露 C05】などの記述）をクリックすると詳しい成果を見ることができます。

登録日 1月22日

企業・団体名等	有限会社トッパーアカデミー	フリガナ氏名	シマザキ タツコ 嶋崎 田鶴子
連絡先	有限会社トッパーアカデミー 代表	電話番号	090-2407-1035
メールアドレス	t-simazaki★topriver.jp	:メールアドレスの★は@に変換して下さい	
事業の中で横展開したい技術の概要			
技術の名称	人材育成、評価ツール「農業版-iCD」		
概要	農業版 iCD とは、IT 業界で使われている人材育成システムを農業界に応用した人材育成の仕組みのこと。企業において高い成果を上げる人材に共通して見られる行動特性（コンピテンシ）を、「企業が着実に成長していくために求められるタスク（業務）」と「個人のスキル（能力）」に分け、業務を中心に整備し、各個人の到達度（レベル）を診断することで、課題を把握し成長をサポートしていくものである。作型、品目で異なる農作業を、タスクとして体系化し作業者の習熟度を定期診断により数値化。新技術に対応可能な仕組みとして提供する。また、目標の形骸化防止として、作業者が重視する価値観を基に、第三者サポートまたは上長による定期面談を実施。作業者の年次変化や組織内での変化を視覚的に表現することで、管理者の指導方針を明確にする。診断評価と面談ログはクラウド型アプリ「TOPFARMERS」内に記録され、人材育成データとして管理・活用が可能になる。データ活用方法及び面談手法を体系化し人材育成の指導と支援を行う。		
横展開したい技術を実証したスマート農業実証プロジェクト			
課題名	データを活用した農業経営をモデル化し、データに基づき安定的に収益をあげることができる次世代農業人（スマートファーマー）育成の実証	課題番号	【露 C05】
横展開の対象として想定している営農体系など			
営農体系	水田作（大規模）,水田作（中山間）,畑作,露地野菜,施設園芸,果樹		
品目	野菜、果樹、水稲、畑作すべて		
対象地域	全国		
備考	https://www.topriver-academy.jp/		
※①「人材育成システム」と「かんしょ」との組み合わせ（【援 H10】）や ②「人材育成システム」と「水稲」との組み合わせ（【援 G26】）は、 これまでの取組と重複するため、今回の公募の対象とならない場合があります。			

登録日 1月 22日

企業・ 団体名等	株式会社誠和	フリガナ 氏名	イノガイ サオリ 磯貝 沙織
連絡先	商品開発部 教育事業課	電話番号	0285-44-1751
メールアドレス	kyoiku-plaza★seiwa-ltd.co.jp :メールアドレスの★は@に変換して下さい		
事業の中で横展開したい技術の概要			
技術の名称	プロファイダー、プロファイダークラウド		
概要	<p>「プロファイダー」は、温度・湿度・二酸化炭素・日射量の栽培に必要な環境因子を測定する機器です。ハウス内環境を見える化して理想のハウス内環境作りを目指すことができます。</p> <p>「プロファイダークラウド」は、プロファイダー等から収集した多様なデータを遠隔監視・活用・分析するための施設園芸用 WEB サービスです。複数生産者の環境や生育データ等を一度に比較・分析する機能を有しており、生産者自身での栽培環境の改善へ繋がるだけでなく、普及指導員が営農指導のデータとしても利用することができます。また場所を選ばず、栽培支援サポートができるサービスです。例えば「光合成モニター」は、ハウス全体の光合成量を数値とグラフで確認することができ、栽培管理での過剰・不足・病気等の課題を光合成量の増減で発見することができます。さらに「プロフィットナビ」はエネルギーと植物成長の相関からトマトの収穫量を予測するサービスであり、環境管理技術の平準化・エネルギーの使い方改善に寄与することができます。これらスマート農業技術を導入することで、産地でのデータ活用の取組が活発化し、産地全体のレベルアップへ繋がります。</p>		
横展開したい技術を実証したスマート農業実証プロジェクト			
課題名	施設園芸コンテンツ連携によるトマトのスマート一貫体系の実証	課題番号	【施 C02】
横展開の対象として想定している営農体系など			
営農体系	花き,施設園芸,果樹		
品目	トマト、いちご、なす、パプリカ、きゅうり、ばら、ぶどう		
対象地域	特に無し		
備考	<p>○プロファイダー 紹介 HP カタログ</p> <p>○プロファイダークラウド 紹介 HP カタログ</p>		
<p>※ 「環境モニタリングシステム機器」と「ピーマン、いちご、たまねぎ、水稻 または ぶどう」との組み合わせ（【援 B03】、【援 C04】、【援 D06】、【援 C22】、【援 G27】、【援 H28】）は、これまでの取組と重複するため、今回の公募の対象とならない場合があります。</p>			

登録日 1月 22日

企業・ 団体名等	株式会社ファーム・アライアンス・マネジメント	フリガナ 氏名	コバヤシ カズヒロ 小林 和敬
連絡先	営業部 農業 ICT サービス課	電話番号	03-3265-5090
メールアドレス	kazuhiro_kobayashi★farmalliance.net	:メールアドレスの★は@に変換して下さい	
事業の中で横展開したい技術の概要			
技術の名称	FarmChat (ファームチャット)		
概要	FarmChat (ファームチャット) は、チャットツールと呼ばれるチャット機能・配信機能を備えたコミュニケーションアプリ内に、農業現場で必要とされる検索機能や、調査機能の他、JA や生産者からの要望に応じたデータ連携機能を詰め込んだ、総合的な農業情報ポータルアプリです。		
横展開したい技術を実証したスマート農業実証プロジェクト			
課題名	I C T 技術や A I 技術等を活用した「日本一園芸産地プロジェクト (施設園芸 : なす・すいか) 」の実証	課題番号	【施 H05】
横展開の対象として想定している営農体系など			
営農体系	水田作 (大規模) ,水田作 (中山間) ,畑作,露地野菜,花き,施設園芸,果樹,茶		
品目			
対象地域			
備考	https://farm-chat.com/		

登録日 2月5日

企業・ 団体名等	株式会社ソフトビル	フリガナ 氏名	オガタ リョウ 緒方 良
連絡先	Fグループ	電話番号	0967-73-1111
メールアドレス	Ogata★soft-build.co.jp	:メールアドレスの★は@に変換して下さい	
事業の中で横展開したい技術の概要			
技術の名称	FARMBOX		
概要	農業者を支援する指導員、普及員の現場の巡回情報をデジタル化し既存情報と組み合わせることで個人ではなく組織で支援できる体制を構築する技術を横展開したい。		
横展開したい技術を実証したスマート農業実証プロジェクト			
課題名	I C T技術やA I技術等を活用した「日本一園芸産地プロジェクト（施設園芸：なす・すいか）」の実証	課題番号	【施 H05】
横展開の対象として想定している営農体系など			
営農体系	水田作（大規模）,水田作（中山間）,畑作,露地野菜,花き,施設園芸,果樹,茶,畜産		
品目	全品目		
対象地域	全国		
備考	※ 「経営・営農管理システム」と「いちご、ピーマン、たまねぎ、水稲、トマト、茶、キャベツ、小麦、大豆、ばれいしょ、てんさい、かぼちゃ、ブロッコリー、スイートコーン、ねぎ、ゴボウ または ぶどう」との組み合わせ（【援 B03】、【援 C04】、【援 D06】、【援 E08】、【援 E09】、【援 H11】、【援 A21】、【援 C22】、【援 G27】、【援 H28】）は、これまでの取組と重複するため、今回の公募の対象とならない場合があります。		

登録日 1月 22日

企業・ 団体名等	「大阪のてっぺん」天王地区スマート農業推進コンソーシアム	フリガナ 氏名	モリタ ヨシロ 森田 吉公
連絡先	株式会社アルケミクス	電話番号	06-6942-3229
メールアドレス	y-morita★alchemics.co.jp	:メールアドレスの★は@に変換して下さい	
事業の中で横展開したい技術の概要			
技術の名称	ドローンを用いた水稲直播栽培と防除・肥料散布による作業時間の軽減		
概要	<p>農業用ドローンを用い水稲直播栽培を実施し、移植時間、防除、肥料散布に要する作業時間を軽減する。</p> <p>実証での実績：</p> <p>「育苗+田植」作業時間を6分の1に削減（83%削減）</p> <p>「追肥+農薬散布」作業時間を5分の1に削減（80%削減）</p> <p>さらに、実証で取得したドローンを導入する場合の留意事項（購入、保険、メンテナンス、免許取得、運行計画及び人員配置計画等）に関する知見の横展開が可能である。</p>		
横展開したい技術を実証したスマート農業実証プロジェクト			
課題名	スマート農業による中山間地農業振興と関係人口・交流人口の増加	課題番号	【水2F07】
横展開の対象として想定している営農体系など			
営農体系	水田作（中山間）		
品目	水稲		
対象地域			
備考			
<p>※ 「農薬散布ドローン」と「水稲、ねぎ、かぼちゃ、小麦、大豆、キャベツ または ブロッコリー」との組み合わせ（【援A01】、【援H11】、【援E24】）は、 これまでの取組と重複するため、今回の公募の対象とならない場合があります。</p>			

登録日 1月 22日

企業・団体名等	株式会社日本能率協会コンサルティング	フリガナ氏名	ヤギヌマ ソウスケ 柳沼 草介
連絡先	生産コンサルティング事業本部	電話番号	070-2208-6697
メールアドレス	sosuke_yaginuma★jmac.co.jp	:メールアドレスの★は@に変換して下さい	
事業の中で横展開したい技術の概要			
技術の名称	①各種営農データを活用した経営改善 (収益改善・収量向上・労働生産性向上・人材育成など) ②シェアリングやコントラクターなど産地全体または産地間での連携モデルの構築		
概要	①各種営農データを活用した経営改善 苦勞して営農管理システムや Excel で日々入力蓄積しているデータ、環境モニタリングシステム等で自動収集されているデータ、活用されずに眠ったままになっていませんか。 目的に応じて適切にデータを収集し、工夫して見える化して、必要なメンバーで適切に共有し考察することで、経営者と従業員で同じ目標に向かって、持続的に経営改善を推し進めることができます。 環境データ、作物生育データ、収量データを活用した収量・品質向上活動、労働時間と出来高データを活用した労働生産性向上活動、品目ごとの販売・費用データを活用した収益改善活動など、データを活用した経営改善の実現と、活動を通じたデータ活用人材育成を支援します。 ②シェアリングやコントラクターなど産地全体または産地間での連携モデルの構築 高能率だが高額な農機等を自社単独では難しいが何とか導入したい、地域として生き残っていくために地域内で作業分担等を進め効率化を図りたい、そのような課題感をもたれる産地に対し、産地内・産地間の連携モデル構築の検討を支援します。		
横展開したい技術を実証したスマート農業実証プロジェクト			
課題名	加工・業務用野菜サプライチェーン最適モデル構築を目的とした、キャベツ・玉ねぎの機械化栽培技術体系と産地ルーと連動したスマート農機の県間広域シェアリングによる低コスト技術体系の実証	課題番号	【露 2C03】
横展開の対象として想定している営農体系など			
営農体系	水田作(大規模)、水田作(中山間)、畑作、露地野菜、花き、施設園芸、果樹、茶、畜産		
品目	全品目		
対象地域	全国		
備考	https://www.jmac.co.jp/consulting/industry/agri.html		
※ ①「経営・営農管理システム」と「いちご、ピーマン、たまねぎ、水稲、トマト、茶、キャベツ、小麦、大豆、ばれいしょ、てんさい、かぼちゃ、ブロッコリー、スイートコーン、ねぎ、ゴボウ または ぶどう」との組み合わせ (【援 B03】、【援 C04】、【援 D06】、【援 E08】、【援 E09】、【援 H11】、【援 A21】、【援 C22】、【援 G27】、【援 H28】) や、 ②「作業用車両の移動管理システム」と「飼料作物」との組み合わせ (【援 A02】) や、 ③「ドローンシェアリング」と「水稲、大豆、大麦 または 小麦」との組み合わせ (【援 D07】、【援 E24】) は、これまでの取組と重複するため、今回の公募の対象とならない場合があります。			

登録日 1月 22日

企業・ 団体名等	株式会社 NTT アグリテクノロジー	フリガナ 氏名	カトウ ユウリ 加藤 悠理
連絡先	セールスソリューション部	電話番号	090-2551-4939
メールアドレス	yuuri.katou.uz★east.ntt.co.jp	:メールアドレスの★は@に変換して下さい	
事業の中で横展開したい技術の概要			
技術の名称	遠隔技術指導システム（リアルメタバース）、収穫適期判定システム（AI）、自動収穫運搬ロボット、遠隔ショッピングシステム（リアルメタバース）、経営管理システム、収量予測システム、生販連携システム		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・遠隔技術指導システム（リアルメタバース）：栽培指導や、生産者同士のコミュニケーションをスマートグラス等を活用して実施することで、栽培に係る質問の解決時間の短縮や、移動コストの削減につながります。 ・収穫適期判定システム（AI）：AI を活用した収穫の適期を判定することで、新規就農者や農福連携等での収穫時でも品質の統一を図ることができる。 ・自動収穫運搬ロボット：自動で作物を収穫運搬を行うロボット。 ・遠隔ショッピングシステム（リアルメタバース）：リアルメタバース空間に店舗を投影し、そこからショッピングを行うことができるため、現地に行ったかのような体験ができる。 ・経営管理システム：栽培管理から、稼働管理まで LINE を活用したアプリ。 ・収量予測システム：WAGRI を活用した収量予測のアプリ。 ・生販連携システム：販売所と生産者をつなぐアプリ。リアルタイムの売り場状況や来客状況が分かり、購買機会の向上を図る。 		
横展開したい技術を実証したスマート農業実証プロジェクト			
課題名	サキホコレ！ローカル 5G とリアルメタバースを活用した秋田県産地モデル実証	課題番号	【5G4B1】
横展開の対象として想定している営農体系など			
営農体系	施設園芸		
品目	自動収穫運搬ロボット：いちご それ以外は、多品目に対応可		
対象地域	全国		
備考			

登録日 1月 22日

企業・ 団体名等	一般社団法人日本の農村を元気にする会	フリガナ 氏名	
連絡先	スマート農業普及係	電話番号	090-4933-4716
メールアドレス	Info★nousongenki.org	:メールアドレスの★は@に変換して下さい	
事業の中で横展開したい技術の概要			
技術の名称	農機シェアリング調整アプリ famcon(ファムコン) 特許取得済		
概要	<p>使用したい農機の予約や、ドローンによる農薬散布の依頼が可能。</p> <p>農機予約機能：カレンダーから簡単に、農機や農作業の予約をすることができます。</p> <p>天気予報：予約カレンダーには、使用箇所付近の天気予報も表示され、予報を参考に予約日時を決めることができます。</p> <p>AIスコア：天気や過去の履歴をもとに、農機使用推奨度をスコアとして表示します。</p> <p>実施報告書：農機の使用や作業の実施報告書をアプリから簡単に作成でき、使用者と管理者で共有できます。</p> <p>おすすめ散布日通知：前回散布時からの累積降水量などをもとに、おすすめ散布日をプッシュ通知などでお知らせします。</p> <p>帳票出力機能：実施報告書を基に、農薬散布等の帳票を自動出力します。</p> <p>外部アプリ連携：気象情報センサーや、農業日誌アプリとデータ連携することが可能です。</p>		
横展開したい技術を実証したスマート農業実証プロジェクト			
課題名	高知県安芸地区におけるローカル 5G の活用によるゆず 生産スマート化実証	課題番号	[5G4G2]
横展開の対象として想定している営農体系など			
営農体系	水田作（大規模）,水田作（中山間）,畑作,露地野菜,花き,施設園芸,果樹,茶,畜産		
品目	全ての品目		
対象地域	全国		
備考	smart_agri_359-1.pdf (maff.go.jp) smart_agri_359-2.pdf (maff.go.jp)		